

大和公民館だより

発行者 大和公民館  
〒409-1203 甲州市大和町初鹿野 1693-1  
館長(有賀) 主事(三枝)

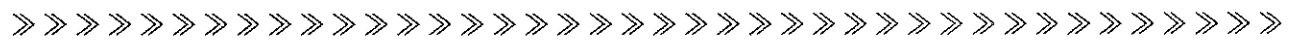
◇グラウンドゴルフ大会を10月14日

◇バドミントン教室を10月15・22・29日

に各関係団体との共催でそれぞれ開催します。コロナウイルス感染防止対策を講じての開催となります。マスク着用のうえご参加ください

なお、グラウンドゴルフ大会は大和スポーツ公園、バドミントン教室は大和中学校体育館が会場となり、開始時間はいずれも午後7時からとなります。詳細は「やまと地域お知らせ版 10月号」に掲載されていますので、ご参照ください。

お問い合わせ及び参加申し込みは、大和ふるさと会館(☎)までお願いします。



笹子峠の西の麓の民話・伝説

「不知塚」(ふぢづか)

有馬晴信は、安土桃山時代の肥前有馬の大名有馬義貞の次男で、兄の義純が早世したので父の跡目を継いだ。1580年キリスト教の洗礼を受け、教名をジョアン・プロタシオと言う。

天正10年(1582)大友義鎮、大村純忠と共に使節をローマに送った。豊臣秀吉の九州征伐以来その下に従い、後に徳川家康にも仕えた。慶長14年(1609)家康の命により、ポルトガル船マードレ・デ・アウス号を長崎港港外で撃沈した。

その後、1612年、岡本大八事件に連座して甲斐の谷村に流され、その後初鹿野村丸林に幽閉された。晴信は切腹を命じられたが、キリスト教信者は自ら命を絶つのを禁じられていたので、これを拒否した。止む無く小路沢(南無阿弥沢)で処刑された。処刑に当たっては、キリスト教信者を処刑するとバテレンのたたりがあるというので、なかなか行うものがいなかったという。晴信46歳であった。

晴信の亡骸は秘かに駒飼の見晴らしの良い小高い岡(旗塚)に葬り、塚を造って霊を慰めた。この立派な塚は、誰のものかと訊ねられても村人たちは後難を恐れて、「不知不知(しらずしらず)」と返事をした。それからこの塚地を不知塚と呼ぶようになった。

明治40年の大水害で笹子沢川沿いにあった養真寺の墓地が流失したので、この不知塚が日影の共同墓地となった。

— 平山 榎太 —

(注) 後年、この不知塚は中央道下り線の用地の一部になったことから、日影の共同墓地は高台の現在地に移転しました。